

クラウドファンディングで甦る三國連太郎幻の映画『朽ちた手押し車』を語る



劇場公開されていない30年前のネガフィルムが見つかった。

1984年に撮影された『朽ちた手押し車』。

監督島宏の熱意ある売り込みに製作を決めたプロデューサーが配給が見つからないまま製作を決意し撮影にこぎつけた。完成したものの劇場で上映されることはなかった。

そして昨年、「お蔵出し映画祭2013」に出品され満場一致でグランプリに輝いた。

奇しくも三國連太郎1年忌の公開になる。嫁を演じた長山藍子をゲストに今だから言える当時の撮影秘話や180本以上の映画に出演し日本映画界の屋台骨を支えてきた三國連太郎の半生を振り返り、日本映画について存分に語る。

また本作はプリントのデジタル化による経費の増幅による宣伝費の圧迫を回避すべくクラウドファンディングを開始した。その現状についても触れてみたい。

長山藍子プロフィール

1941年6月21日、中国フフホト市生まれ。俳優座養成所を経て劇団新人会、朋友に参加。『女と味噌汁』(65-80)『肝っ玉かあさん』(68-71)『ありがとう』(70-74)などの石井ふく子プロデュース作品、『渡る世間は鬼ばかり』(90-13)などの橋田壽賀子脚本のドラマの常連として活躍。テレビ版『男はつらいよ』(68-69)でさくら役を務め、映画『男はつらいよ 望郷篇』(70)ではマドンナを演じた。

開催日時 2014年4月15日(火) 13:30 開場14:00 開演 14:50 終了予定。

登壇ゲスト 長山藍子 (『朽ちた手押し車』で共演) 聞き手: 大高宏雄 (映画評論家)

会場: 東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール

上記のイベントに(20)組(40)名様をご招待いたします。

締め切りは4月9日(水)です。

問い合わせ: アークエンタテインメント山崎(6434)1033

トラヴィス細谷090(4029)4860